



令和7年度広島県相談支援従事者現任研修

演習 《事例報告・検討》



かびやパンダ
令和7年度
相談支援現任研

社会福祉法人 大乘福社会
相談支援事業所フロンタイン
主任相談支援専門員 藤井 知佳

TEL:070-7579-9972 MAIL:soudanfrontline@gmail.com

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

1



相談支援事業所 フロンタイン



はじめまして

2021年10月1日事業開始
広島県全域を対象

〒729-2312
広島県竹原市福田町2769-1
☎ 070-7579-9971

- 障害のある人を**社会の最前線**に送り出していけるよう、その自立を支援すること。
- 私たち支援者が、**暮らしの最前線**で寄り添っていくということ。
- どんな困難なケースでも専門職として最前線から**逃げない**ということ。
- 専門職として最前線を走る**トップランナー**であり続けたいということ。

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

2



スケジュール

時間		やること
10分	10:40～10:50	説明
5分	10:50～10:55	セルフチェック
5分	10:55～11:00	説明
10分	11:00～11:10	アイスブレイク
5分	11:10～11:15	説明
200分	11:15～15:35	実践報告・検討 ※60分昼休憩、他適宜休憩含む

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

3



現任研修の獲得目標

1. **個別相談支援の基本**を理解し、それを基盤とした実践を行うことができる。
2. 多職種連携及び**チームアプローチ**の理論と方法を学び、実践することができる。
3. **コミュニティワーク**(地域とのつながりやインフォーマルサービスの活用、社会資源の開発等)の理論と方法を理解し、実践できる。
4. スーパービジョンの理論と方法を理解するとともに、相談支援実践においてスーパービジョンを取り入れる(**人材育成**)。



現任研修の構造

告示別表

現任研修		時間数
講義	障害福祉の動向に関する講義	1.5h
	相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義	3.0h
	人材育成の手法に関する講義	1.5h
講義及び演習	相談支援に関する講義及び演習	18.0h
	合計	24.0h

通知

相談支援従事者研修事業の実施について
(平成一八・四・二一 障発〇四二一〇)

●相談支援従事者研修事業実施要綱

以下の標準カリキュラムを含む内容

- ・相談支援従事者初任者研修標準カリキュラム
- ・相談支援従事者現任研修標準カリキュラム
- ・専門コース別研修標準カリキュラム

都道府県等による研修は**標準カリキュラム以上の内容で実施**

標準カリキュラム

1日目	講義	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法等の現状（1.5時間）
		本人を中心とした支援におけるケアマネジメント及びコミュニティソーシャルワークの理論と方法（3時間）
		実践研究及びスーパービジョンによる人材育成の理論と方法（1.5時間）
		実習（標準カリキュラム上は任意）
2日目	講義 演習	個別相談支援とケアマネジメント（6時間）
		実習（標準カリキュラム上は任意）
3日目	講義 演習	相談援助に求められるチームアプローチ（多職種連携）（6時間）
		実習（標準カリキュラム上は任意）
4日目	講義 演習	地域をつくる相談支援（コミュニティワーク）の実践（6時間）

引用:令和7年度国研資料

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

5



個別相談支援とケアマネジメント 科目のねらい

- ① 本人を中心とした個別の相談支援の実践に必要な相談支援の技術について説明できる。
- ② ふりかえりを通して、向上できることに気づく。
- ③ ふりかえり、検討することで、個別相談支援の能力向上を図る。



参考:障害者相談支援従事者
研修テキスト(現任研)

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

6



学習のポイント

① 知識と実践(事例)の結びつけ

- 意思決定支援の展開/インテーク/アセスメント/モニタリング

② 個人演習・セルフチェック

- 意思決定支援のポイント/インテークのポイント/アセスメントのポイント/モニタリングのポイント

③ 実践報告・検討を通した個別相談支援の能力向上

- 意思決定支援のポイントと結びつけ/信頼関係の構築や自己肯定感を高めていく支援展開/助言や指導を受けることの重要性

参考:障害者相談支援従事者
研修テキスト(現任研)

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

7



セルフチェック



- テキスト p 171
- 1日目と2日目の講義の内容などを参考に、日頃の相談支援業務に照らし合わせてふりかえってみましょう。
- 時間があれば、「気づき」の欄にも記入してみましょう。
- セルフチェックシートはテキスト巻末 p 246 にもあります。

参考:障害者相談支援従事者
研修テキスト(現任研)

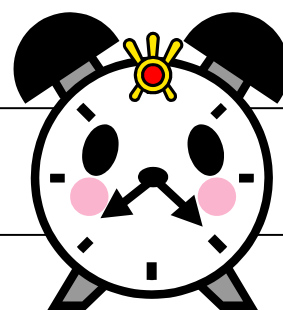
CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

8



AMタイムスケジュール

時間		やること
10分	11:00～ 11:10	アイスブレイク ①お名前②所属機関③学びたい事・意気込み ④本日のお題
5分	11:10～ 11:15	グランドールの確認 役割分担
30分	11:15～ 11:45	実践報告①
30分	11:45～ 12:15	実践報告②



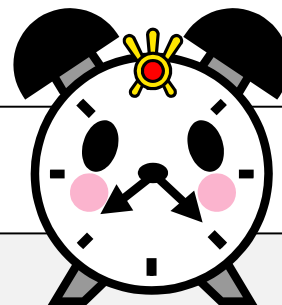
CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

9



PMタイムスケジュール

時間		やること
30分	13:15～ 13:45	実践報告③
30分	13:45～ 14:15	実践報告④
10分	14:15～ 14:25	休憩
30分	14:25～ 14:55	実践報告⑤
30分	14:55～ 15:25	実践報告⑥



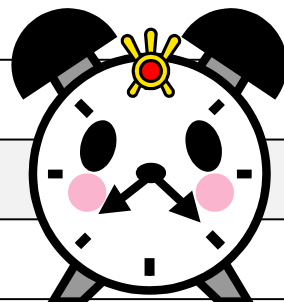
CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

10



6人グループの場合(例)

時間		やること
30分	11:15～11:45	実践報告①
30分	11:45～12:15	実践報告②
60分	12:15～13:15	休憩
30分	13:15～13:45	実践報告③
30分	13:45～14:15	実践報告④
10分	14:15～14:25	休憩
30分	14:25～14:55	実践報告⑤
30分	14:55～15:25	実践報告⑥



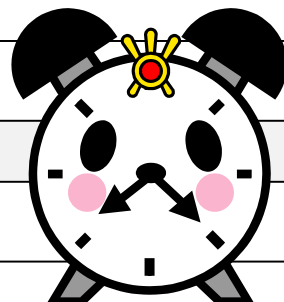
CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

11



7人グループの場合(例)

時間		やること
25分	11:15～11:40	実践報告①
25分	11:40～12:05	実践報告②
60分	12:05～13:05	休憩
25分	13:05～13:30	実践報告③
25分	13:30～13:55	実践報告④
25分	13:55～14:20	実践報告⑤
10分	14:20～14:30	休憩
25分	14:30～14:55	実践報告⑥
25分	14:55～15:20	実践報告⑦



CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

12



アイスブレイク

自己紹介

- ① お名前
- ② 所属機関
- ③ 学びたいこと・意気込み
- ④ 本日のお題：

当日ご案内
します(〜)/

最初のセッションは場作りが大切です☆
リラックスして臨んでくださいね

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

13



グランドルール

- ① 周りの人に関心をもち積極的に参加しましょう。
- ② 他の人の発言に敬意をはらいましょう。
- ③ ひとりひとりの発言を大切に。発言は90秒程度。
- ④ 楽しく笑顔を大切に、ユーモアを忘れずに。
- ⑤ 自分と意見が違ったとしても相手の良いところに
着目しましょう。

⑥

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

14



グランドルールを 設定してみる

ブレインストーミングを基にしたグランドルールの作成例

- ・ 批判はしない→出た意見について批判をしたり、評価しない
- ・ 自由な意見を→思いついた意見も大切に、どんな意見も歓迎する
- ・ 質より量→多くの意見を出して、アイデアを発散する
- ・ 他の人の意見に乗せて→出てきた意見に付け足して、発想を広げていく

グランドルールはグループ全員で共有して
合意を得ておきましょう

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

15



役割分担

- 演習の度に、進行役・タイムキーパー・記録係を決めておきましょう。
- 役割が決まったら演習で用いる資料の確認をお願いします。

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

16



実践報告のながれ

6人

30分	内容	やること
3分	読み込み	報告者の事例を読み込む(全員) 報告者は報告に向けまとめる
7分	報告	①報告者は「 検討したいこと・アイディアがほしい事 」を伝える ②事例の概要、アセスメント等を端的に報告
10分	質問	検討したいことに関する質問
10分	検討	検討課題を明確にして具体的な支援方法を検討する



実践報告のながれ

7人

25分	内容	やること
3分	読み込み	報告者の事例を読み込む(全員) 報告者は報告に向けまとめる
5分	報告	①報告者は「 検討したいこと・アイディアがほしい事 」を伝える ②事例の概要、アセスメント等を端的に報告
7分	質問	検討したいことに関する質問
10分	検討	検討課題を明確にして具体的な支援方法を検討する



質問の仕方

- ① 具体的に確認する。
- ② 質問・発言の意図を確認する。
- ③ 事例発表者の気付きを促す質問をする。
- ④ クローズドクエスチョンが効果的。

※質問が出ないときは報告を受けての感想や事例の印象を述べてから検討のセッションに移る。

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

19



メンバーの意見を 引き出す7つのポイント

- ① 「答えやすい」質問をする。
- ② 「一言ずつ」というフレーズを入れる。
- ③ 「パスあり」もOKにする。
- ④ 2～3周する。
- ⑤ 笑顔で問いかける。
- ⑥ 参加者の回答は否定せず受け入れる。
- ⑦ 出た意見にはポジティブにリアクション。



記録は スプレッドシート

2日目演習シート①					
演習① 事例報告・検討		演習② グループワークインターバルの整理			
	A.検討してもらいたい課題	B.検討課題に対して具体的な支援方法	C.当日の振り返りや事例報告・検討を通して確認された支援推進の気づき	D.インターバル期間で行う取り組み内容	E.Dについて基幹相談センター等との共有方法や必要とする動き
例	検討したい内容を具体的に述べる。	報告者は意見を述べず、ここに記載していく。具体的な支援方法を検討する。 意見などが出なくなれば、感想や印象を述べる。	Bより提案された内容から自身が気づいたことを記入して、共有を行う。	Dの中から、取り組みそうな実態について検討。具体的にどのような取り組みかまとめる。(インターバル報告書①)	F.今日の研修での振り返り、気づきなど
1					
2					

記録はスプレッドシート内のご自身の枠に
お願いしてください。

事例報告者は、

- ① A.検討してもらいたい課題
- ② B.検討課題に対して具体的な支援方法を記録します。

CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

21



ここからは グループワーク

- グループワーク中は適宜休憩を挟んでください。
- お昼休憩は**60分**確保してください。
- 実践報告のグループワークは**15:35**に終了します。
- 早く終わったグループは、セッションをしてみてもの意見交換をしてみましょう。



CHIKA FUJII @ OONORIFUKUSHIKAI social welfare juridical person

22